

令和4年播種（令和5年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔2月10日調査結果〕

*積雪のため、草丈、茎数は2月22日に調査、幼穂長は2月10日に調査を実施

1. 気象概況〔12月中旬～2月中旬〕(図1)

- 平均気温は、12月中旬と1月下旬～2月上旬は平年より低かった。12月下旬、1月中旬は高温で経過した。
- 降水量は、12月中旬と2月上旬～中旬は積雪があり、平年より多い。それ以外の期間は平年より少ない。
- 日照時間は、12月中旬と1月中旬、2月上旬は寡照で、12月下旬～1月上旬と1月下旬は多照だった。

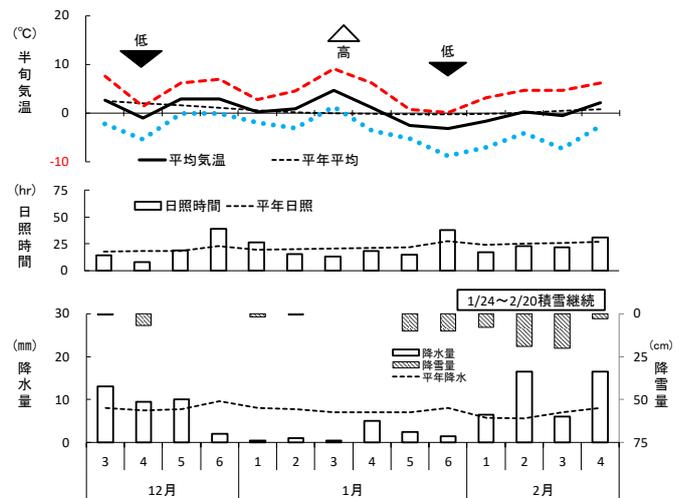


図1 気象経過 古川アメダス

2. 生育概況

1) 2月22日現在の生育状況（表1）*積雪等により草丈・茎数の調査は2月22日に行った

10月中旬播種区

- 草丈は、大麦が10.2～11.0cm、小麦が9.4～11.7cmで、平年並～やや短かった。
- 茎数は、大麦が1107～1187本/m²、小麦が967～1285本/m²で、平年より多かった。
- 葉数は、大麦が5.8～6.5枚、小麦が6.4～6.5枚で、平年並～やや多かった。

10月下旬播種区

- 草丈は、大麦が7.3～7.6cm、小麦が8.4～10.3cmで、平年並だった。
- 茎数は、大麦が561～685本/m²、小麦が442～772本/m²で、大麦「シュンライ」は平年よりやや少なく、「ミノリムギ」は平年より多かった。小麦は平年よりやや多い～多かった。
- 葉数は、大麦が4.5枚、小麦が4.4～4.9枚で、平年並～やや多かった。

2) 幼穂長及び幼穂分化程度（表2）

10月中旬播種区

- 大麦の幼穂長は1.1～1.3mmで、1月上旬～中旬に幼穂形成始期に達した。
- 小麦の幼穂長は0.3mmで幼穂形成始期には達していない。
- 大麦、小麦ともに幼穂長は平年並であるが、大麦の幼穂形成期は平年より大幅に早かった。

10月下旬播種区

- 大麦の幼穂長は0.5～0.6mm、小麦は0.2mmで、平年並だった。
- いずれも幼穂形成始期には達していない。

3. 栽培管理の状況

- 1回目の踏圧を1月中旬に実施した。
- 2月下旬に大麦の幼穂形成期追肥を予定している。

表1 生育状況

品種	區別	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(枚)			
		本年	前年比(%)	平年(2/10現在)比(%)	本年	前年比(%)	平年(2/10現在)比(%)	本年	前年差	平年(2/10現在)差	
大麦	シュンライ	中旬播種区	10.2	—	91	1107	—	139	5.8	±0	+0.0
		下旬播種区	7.3	—	100	561	—	94	4.5	±0	+0.3
	ミノリムギ	中旬播種区	11.0	—	97	1187	—	129	6.5	+0.6	+0.4
		下旬播種区	7.6	—	97	685	—	123	4.5	+0.2	-0.1
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	11.7	—	98	1285	—	155	6.5	+0.2	+0.3
		下旬播種区	10.3	—	104	772	—	155	4.9	+0.8	+0.4
	夏黄金	中旬播種区	9.4	—	95	967	—	118	6.4	+0.4	+0.6
		下旬播種区	8.4	—	99	442	—	114	4.4	+0.1	+0.1

注1) 調査日:積雪のため2月22日に実施した。

注2) 中旬播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値、欠測値を除いた3か年分の平均値。

注3) 「夏黄金」の中旬播種区は平成28年播種から、供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注4) 下旬播種区は平成29年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注5) 積雪のため前年の草丈、茎数は欠測となっている。

表2 幼穂長及び幼穂分化程度

品種	區別	幼穂長(mm)			幼穂分化程度	幼穂形成始期			
		本年	前年	平年		本年(月/日)	前年(月/日)	平年(月/日)	
大麦	シュンライ	中旬播種区	1.3	1.2	1.1	VIII	1/5	2/26	2/1
		下旬播種区	0.6	0.7	0.7	VI	—	3/14	3/6
	ミノリムギ	中旬播種区	1.1	1.0	1.0	VII	1/14	3/2	2/12
		下旬播種区	0.5	0.6	0.6	VI	—	3/16	3/7
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	0.3	0.3	0.3	V未滿	—	3/24	3/7
		下旬播種区	0.2	0.2	0.2	V未滿	—	3/30	3/23
	夏黄金	中旬播種区	0.3	0.3	0.2	V未滿	—	3/26	3/10
		下旬播種区	0.2	0.2	0.2	V未滿	—	3/30	3/24

注1) 中旬播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注2) 「夏黄金」の中旬播種区は平成28年播種から、供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注3) 下旬播種区は平成29年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注4) 幼穂形成始期:幼穂長1mmに達した日。

[参考] 麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期	小穂分化期			穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0

注1) 幼穂分化程度はI~Xの10期に分類されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略した。

注2) 厳密にはVII期は前期と後期に、IX期は前期、中期、後期に区分される。

令和4年播種（令和5年産）麦類生育調査ほ生育状況〔12月15日・2月10日調査結果〕

表1 令和4年播種（令和5年産）麦類 生育調査ほ 耕種概要

担当普及センター	品種名	実施場所	畑転換年数	排水対策 (明渠, 暗渠等)	播種期 (月/日)	播種量 (kg/a)	出芽良否 (良・中・不良)	条間 (cm)
大河原	シュンライ	柴田郡大河原町	18	なし	11/13	0.8	良	30.0
	ホワイトファイバー	柴田郡大河原町	18	なし	11/9	0.8	良	30.0
仙台	シュンライ	仙台市宮城野区	1	明渠, 本暗渠	10/16	1	良	22.7
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	2	本暗渠	10/23	1	良	15.7
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	16	明渠, 弾丸暗渠	10/14	1.1	良	25.0
	夏黄金	遠田郡涌谷町	2	明渠, 弾丸暗渠	10/28	1	良	22.0
登米	あおばの恋	登米市豊里町	3	本暗渠	11/8	1	良	25.0
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	1	明渠, 本暗渠, 弾丸暗渠	10/7	0.9	良	30.2
	ミノリムギ	石巻市桃生町	1	明渠, 本暗渠, 弾丸暗渠	10/15	0.95	良	28.9
	シラネコムギ	石巻市桃生町	水稲作付なし	なし	10/16	0.85	良	24.9

注1) 播種様式は「ドリル播き」。

注2) 出芽良否：良：良：80%以上，中：良と不良の間，不良：60%以下。

表2 麦類生育調査ほ 生育状況（12月15日調査）

担当普及センター	品種	実施場所	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			幼穂長 (mm)
			本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年比(%)	平年比(%)	
大河原	シュンライ	柴田郡大河原町	6.4	98	85	118	61	66	-
	ホワイトファイバー	柴田郡大河原町	7.8	100	-	90	49	-	-
仙台	シュンライ	仙台市宮城野区	11.3	-	-	839	-	-	1.0
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	13.7	136	113	248	89	64	-
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	11.9	165	161	996	803	307	-
	夏黄金	遠田郡涌谷町	10.3	123	127	318	141	97	-
登米	あおばの恋	登米市豊里町	8.7	70	-	228	175	-	-
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	13.9	73	127	652	75	188	1.6
	ミノリムギ	石巻市桃生町	13	91	103	577	160	211	0.1
	シラネコムギ	石巻市桃生町	17.5	72	189	1004	91	357	0.1

注1) 平年値は、過去7か年中の値から、最高値と最低値を除いた5か年の平均値。

注2) 大河原町「ホワイトファイバー」は、令和元年播種から調査のため、平年値(比・差)はない。

注3) 仙台市「シュンライ」は、令和4年度播種から調査のため、平年値・前年値(比・差)はない。

注4) 登米市「あおばの恋」は、平成28年播種から調査のため、平年値(比・差)がない。

注5) 幼穂長の「-」は未調査であることを示す。観察の結果、幼穂を確認できなかった場合は「0」と示す。

表3 麦類生育調査ほ 生育状況（2月10日調査）

担当普及センター	品種	実施場所	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			幼穂長 (mm)
			本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年比(%)	平年比(%)	
大河原	シュンライ	柴田郡大河原町	6.7	86	81	165	92	45	0.0
	ホワイトファイバー	柴田郡大河原町	7.5	91	-	178	53	-	0.0
仙台	シュンライ	仙台市宮城野区	10.7	-	-	1355	-	-	1.7
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	12.8	129	125	653	140	113	0.1
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	10.2	116	118	1176	676	192	0.0
	夏黄金	遠田郡涌谷町	8.6	96	106	575	148	117	0.0
登米	あおばの恋	登米市豊里町	8.8	75	-	236	174	-	0.3
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	13.1	73	116	851	83	163	2.5
	ミノリムギ	石巻市桃生町	12.0	103	104	953	170	213	1.1
	シラネコムギ	石巻市桃生町	16.2	73	139	1213	94	297	0.5

注1) 平年値は、過去7か年中の値から、最高値と最低値を除いた5か年の平均値。

注2) 大河原町「ホワイトファイバー」は、令和元年播種から調査のため、平年値(比・差)はない。

注3) 仙台市「シュンライ」は、令和4年度播種から調査のため、平年値・前年値(比・差)はない。

注4) 登米市「あおばの恋」は、平成28年播種から調査のため、平年値(比・差)がない。

注5) 幼穂長の「-」は未調査であることを示す。観察の結果、幼穂を確認できなかった場合は「0」と示す。

<生育調査ほの状況等>

大河原 「シュンライ」, 「ホワイトファイバー」

- ・気温は、1月中旬が平年に比べ高くなったが、1月下旬以降低温傾向が続いている。
- ・降水量は、12月は平年並みであったが、1月以降平年より少なく乾燥した状態が続いている。
- ・低温・乾燥傾向で推移しているため、葉先が枯れているものもあり、草丈は短めで、分けつの発生は緩慢である。
- ・目立った凍霜害等の諸障害はみられないが、「シュンライ」ほ場で渡り鳥による食害が認められた。
- ・「シュンライ」の生育量は、草丈・茎数とも昨年よりもやや少なく、低温・少雨の影響と考えられる。
- ・「ホワイトファイバー」の生育量は、茎数が昨年度よりも少なく、分けつの発生が遅れている。
- ・幼穂は「シュンライ」, 「ホワイトファイバー」とも昨年同様に確認できなかったが、低温によりやや生育が遅れていると考えられる。
- ・幼穂調査の際に葉鞘内に分けつの分化が確認されるので、気温の上昇とともに分けつの発生増加が見込まれる。

仙台 「シュンライ」

12月15日調査

- ・播種期は10/16。
- ・播種後の気温や日照時間は平年並かやや高い数字となっており、出芽も揃っていた。
- ・播種後から12月まで日照時間が平年並か高くなっていたこともあり、茎数839.2本/m²と生育量が多い。

2月10日調査

- ・播種後から気温は概ね平年並みで推移している。降水量については、11月下旬にまとまった雨があったものの、平年より少なく推移している。
- ・幼穂形成始期は12/16, 幼穂長は2/10時点で1.7mm。
- ・麦踏み未実施。
- ・2月中旬に追肥予定。

大崎 「シラネコムギ」

12月15日調査

- ・播種期は10/23だった。
- ・播種時期は降水がほとんどなく、ほ場が乾いている傾向にあった。
- ・出芽良否は良であり、出芽ムラはみられなかった。
- ・平均気温は11月・12月ともに平年より高い期間が長く、降水は少なかった。
- ・12/15の生育量は、草丈が13.7cmで、茎数が248.4本/m²であった。

2月10日調査

- ・ 1月は上中旬が平年より高温，下旬が低温となり，合計降水量は11mmと平年を下回った。
- ・ 2月は第1半旬が平年より低温，第2半旬が高温となった。合計降水量は，2半旬合計で23.0mmと平年を上回った。
- ・ 2/10現在の生育量は，草丈12.8cm，莖数652.9本/m²であった。
- ・ 幼穂長は0.07mmであった。
- ・ 根雪期間が短く，鳥害がややみられた。

美里 「シラネコムギ」, 「夏黄金」

12月15日調査

- ・ 降雨が少なく，播種は順調に終了。出芽も良好。
- ・ 障害及び雑草の発生なし。生育は良好。
- ・ 「シラネコムギ」の出芽始は10/21頃とみられる。12/14現在4.5~5葉，分けつは2~3本/株発生。
- ・ 「夏黄金」の出芽始は11/5頃とみられる。12/14現在4~4.5葉，分けつは1~2本/株発生。

2月10日調査

- ・ 「シラネコムギ」は，鳥（主に白鳥）による葉の食害がほ場全面に発生し，中~甚の被害となっている。
- ・ 「夏黄金」は，鳥（主に白鳥）による葉の食害が発生し，中程度の被害で，ほ場の東側の被害がやや大きい。

登米 「あおばの恋」

12月15日調査

- ・ 播種前後，温暖な天候に恵まれ，5日後に1.5mmの降雨。出芽は概ね良好。
- ・ 野鳥による食害があり。雑草はハコベ類が散見。

2月10日調査

- ・ 幼穂長は0.3mm。調査区及び道路沿いを除き，鳥類による食害がみられる。
- ・ 一部ハコベ類の発生が見られる。

石巻 「シュンライ」, 「ミノリムギ」, 「シラネコムギ」

12月15日調査

- ・ 播種期は「シュンライ」で10/7，「ミノリムギ」で10/15，「シラネコムギ」で10/16であった
- ・ 出芽良否は「シュンライ」, 「ミノリムギ」, 「シラネコムギ」ともに良であった。
- ・ 10/11以降降雨がほぼ無く播種作業が順調に進んだ。11月前半は降雨が少なく後半に降雨があり，降水量の月平均としては平年比152%だった。平均気温が平年よりも高く，生育が進んだ。
- ・ 12/15現在の生育量は，「シュンライ」で草丈は13.9cm，莖数は652本/m²，幼穂長は1.6mmだった。「ミノリムギ」で草丈は13cm，莖数は577本/m²，幼穂長は0.1mmだった。「シラネコムギ」で草丈は17.5cm，莖数は1004本/m²，幼穂長は0.1mmだった。

・麦踏みは「シュンライ」11月中旬と12月上旬に2回実施、「ミノリムギ」「シラネコムギ」は未実施で、ほ場が乾き次第作業する予定。土壌処理剤は「シュンライ」散布なし、「ミノリムギ」「シラネコムギ」散布あり。

2月10日調査

- ・1月の平均気温は平年並み、日照時間は平年並み、降水量はかなり少なかった。
- ・「シュンライ」：草丈13.1cm、莖数851本/m²、幼穂長2.5mm。
- ・「ミノリムギ」：草丈12.0cm、莖数953本/m²、幼穂長1.1mm。
- ・「シラネコムギ」：草丈16.2cm、莖数1213本/m²、幼穂長0.5mm。
- ・「ミノリムギ」ほ場で鳥による食害が見られた。「シュンライ」ほ場で肥切れと思われる葉色低下が見られた。